

母性看護学概論

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講時期：後期

科目責任者（職位・氏名）：教授・橋本美幸

科目担当者（職位・氏名）：

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：70

■ 授業概要

ひとの性と生殖のメカニズムとその意義および女性のライフサイクルの特徴を理解したうえで、母性機能の健全な発達や、母子の健康と安全を擁護し支援する母性看護の役割について教授する。また、リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて、看護者として必要な基本的知識とケア・スピリットに裏付けられた看護専門職者としての態度・能力を養う。

■ 到達目標

1. 母性看護の基盤となる概念について説明できる。
2. 生殖に関する生理、健康問題について説明できる。
3. リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する概念について説明できる。
4. セックス、ジェンダー、セクシュアリティ、性行動について説明できる。
5. 母子保健統計から見た母子の健康問題、課題について考えることができる。
6. 母子の健康と安全を保障する法律、施策、環境について理解できる。
7. 性と生殖の看護の重要性が理解できる。

■ 教育内容

母性看護学

■ キーワード

性と生殖、女性のライフサイクル、母性機能、リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、母性看護の役割

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	母性看護の基盤となる概念 母性看護の中心概念 母性看護実践を支える概念 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	母性看護学領域の学習方法ガイダンス 母性とは 母性看護学の視点、役割 リプロダクティブ・ヘルス/ライツとは	橋本
2	生殖における健康問題と看護 セクシュアリティとジェンダー ヒトの発生・性分化のメカニズム 性意識の発達・性自認 性同一性障害	セクシュアリティ 性の多面性 性同一性障害 性分化疾患 性分化のメカニズム	橋本
3	リプロダクティブ・ヘルスに関する動向 母子保健統計 出生に関する統計 死亡に関する統計	わが国の母子保健の現状と動向 出生数（率）・合計特殊出生率・我が国の総人口・死亡数・妊産婦死亡数・死産数（率）・周産期死亡率・新生児死亡数（率） 人工妊娠中絶数 諸外国との比較	橋本
4	リプロダクティブ・ヘルスに関する法や施策と支援 母子の健康と安全 母子に関する法律・施策 母子を取り巻く社会環境 労働環境、子育て環境	母子に関する法律・施策（母子保健法・母体保護法・労働基準法・男女雇用機会均等法・育児・介護休業法） 子育て支援に関する母子保健制度・施策 暴力・虐待の防止に関する法律と支援 周産期医療システム・医療体制	橋本
5	生殖に関する生理 女性と男性の生殖器 性周期 出生前診断に関する現況	生殖機能・形態の特徴 内分泌の変化 妊娠のメカニズム 生命誕生 出生前診断	橋本
6	生殖における健康問題と看護 第二性徴 月経異常 性感染症	月経異常 月経随伴症状 性感染症	橋本

7	生殖における健康問題と看護 妊孕性と家族計画 不妊と生殖補助医療に関する現況 避妊法・性感染症予防 包括的セクシュアリティ教育	妊孕力と不妊症 自殺、性行動の逸脱 受胎調節と家族計画 性教育とセクシュアリティ教育	橋本
8	生殖における健康問題と看護 加齢とホルモンの変化 更年期・老年女性の健康問題 母性看護における倫理的課題の実際	更年期女性の健康と看護 更年期女性の身体的・心理社会的特徴 更年期障害 老年女性の健康問題（下部尿路機能障害・骨粗しょう症・脂質異常症・動脈硬化・うつ病・委縮性膣炎） 助産師、遺伝カウンセラーになるための進路	橋本

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

試験 90%、授業態度 10%により総合評価する。

ただし、筆記試験は 60 点以上(100 点満点)を合格とする。

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・ 期末試験の採点後に試験の出題意図、配点、全体成績について解説する。
- ・ 希望者には個人成績を開示する。

■ 教科書

- ・ 『デジタル ナーシング・グラフィカ』 メディカ出版
母性看護学 ① 概論・リプロダクティブヘルスと看護

■ 参考書・参考資料等

- ・ 綾部琢哉、板倉敦夫編（2021）『標準医学 標準産科婦人科学 第5版』医学書院
 - ・ 母子衛生研究会編集協力（2023）『母子保健の主なる統計 令和5年刊行』母子保健事業団
 - ・ 厚生労働統計協会編（2023）『国民衛生の動向 2023/2024』厚生労働統計協会
- その他の参考図書は随時紹介する

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・ 授業で紹介した参考図書のうちの1冊は必ず読むこと。
- ・ テクニカルワードが多いので、用語について事前学習により自分で意味を調べておくこと。
事後学習では学習ノートを作り、用語を整理し覚えること。
- ・ 希望者に対して試験結果の開示を行うので、間違ったところがあれば復習すること。
- ・ 詳細は授業時に別途指示する。

■ 担当教員からのメッセージ

テキストを中心に予習・復習を行うこと。

初出の専門用語については、学習により理解するとともに必ず覚えること。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

研究室 10、hashimoto★iwate-uhms.ac.jp、随時、オフィスをお訪ねください。

(※メールの際は★を@にしてください)

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

病院・産院・地域保健センター等での助産師および看護師業務の経験を有しており、それを活かし、母性看護学に関する専門的で実践的な講義を行なっています。

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

母性看護学担当教員、助産学担当教員として 30 年以上の臨床実習指導の経験があります。